

ダチョウが死亡しました



元気なころの様子

野毛山動物園で飼育していた平成 20 年 11 月 15 日生まれのダチョウが 2 月 24 日 (土) 午後 1 時 00 分に死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡した個体について

- (1) 性 別 オス (愛称オース)
- (2) 出 生 日 平成 20 年 11 月 15 日 (9 歳)
- (3) 死亡日時 平成 30 年 2 月 24 日 (土) 午後 1 時 00 分確認
- (4) 死 因 展示場内の柵と地面の間に頸部を挟んだことによる脊髄損傷

2 死亡の経過

2 月 24 日午後 12 時 43 分頃、ダチョウの頸部が展示場内の柵と地面の間に挟まれていると園内ボランティアから連絡があり、すぐにダチョウ舎にて確認したところ、ダチョウの頸部は抜けていましたが、倒れていました。直ちに蘇生処置を講じましたが、同日午後 1 時 00 分に死亡が確認されました。



野毛山動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

野毛山動物園 園長 鈴木 浩 Tel 045-231-1307

【参考資料】ダチョウ（家禽）について

英名	Ostrich
学名	<i>Struthio Camelus var. domesticus</i>
分類	ダチョウ目 ダチョウ科
生息地	アフリカのサバンナや砂漠
形態	現存する鳥の中では最も大きな鳥です。体の大きさは雌雄で大きな差がありませんが、成鳥のオスは体の羽が黒く、メスは灰褐色です。早く走るため、足の指は2本しかありません。
繁殖	3～5歳で性成熟します。一回の産卵で15～20個ほどの卵を産み、オスとメスで協力して抱卵し、産卵から約42日でふ化します。
生態	野毛山動物園では、アフリカンブラックという家畜種のダチョウを飼育しています。ダチョウは、飛ぶことはできませんが、時速約50～80kmで走ることができます。草や木の葉、穀物、昆虫などを食べます。
当園飼育頭数	1頭（メス1）※今回の死亡個体を含まず
国内飼育頭数	14園54頭（オス25、メス28、不明1） ※平成30年1月30日現在 今回死亡した個体を含まず

■野毛山動物園について

- ◆入園料：無料
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※3月26日（月）、4月2日（月）は臨時開園
- ◆交通：JR 根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車 徒歩15分、
または市営バス89系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩10分
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>
- ◆住所：横浜市西区老松町63-10
- ◆問合せ先：045-231-1307